MIKUNI CORPORATION

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名　株式会社 ミクニ　　上場取引所　東
コード番号　7247　URL　http://www.mikuni.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 生田 久貴
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・管理本部本部長　(氏名) 金田 光司　TEL 03-3833-0392

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,923	△2.3	1,499	△33.6	1,172	△21.8	799	132.4
24年3月期第3四半期	61,334	2.4	2,257	△4.1	1,500	△11.2	344	△50.1

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　789百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△205百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	23.60	―
24年3月期第3四半期	10.15	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	73,834	15,597	19.9	432.49
24年3月期	79,087	15,887	17.6	411.78

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　14,656百万円　24年3月期　13,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,300	△1.7	2,100	△18.4	1,600	△22.0	1,300	△18.9	38.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	34,049,423 株	24年3月期	34,049,423 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	159,457 株	24年3月期	154,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	33,892,357 株	24年3月期3Q	33,897,216 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年11月8日に公表いたしました平成25年3月期通期連結業績の予想数値を修正しております。
2. 上記1. に係る詳細は、本日(平成25年2月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定であります。

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… ４
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… ４
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… ５
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ５
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ５
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ５
（４）追加情報 …… ５
３．四半期連結財務諸表 …… ６
（１）四半期連結貸借対照表 …… ６
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ８
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（４）セグメント情報等 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における、わが国経済は東日本大震災後の復興需要や自動車需要においてはエコカー減税や補助金効果による需要の喚起など、景気は緩やかながらも回復傾向にあり、また昨年末には円安方向に転じましたが総体的には円高基調の影響があり、さらには欧州債務問題や新興国経済の鈍化など、景気は先行き不透明感が残る状況で推移しました。

このような経営環境における当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、主に欧州・中国・アセアン市場における需要の低迷及び鈍化、総体的には円高基調であったことの影響などにより、売上高は599億２千３百万円（前年同期比 2.3% 減）となりました。損益につきましては、欧州向け二輪車用製品需要の低迷、一昨年に被災しました洪水被害からの復旧過程におけるタイの現地法人を含む当グループ各社の異常操業、代替生産コスト、新興国の賃金上昇などの要因により、営業利益は14億９千９百万円（前年同期比 33.6% 減）、経常利益は11億７千２百万円（前年同期比 21.8% 減）となりました。四半期純利益につきましては、連結子会社の株式追加取得時の会計処理による特別利益の計上を主な要因として、７億９千９百万円（前年同期比 132.4% 増）となりました。

なお、第１四半期連結累計期間より、従来「営業外収益」に区分掲記していた科目につきまして、表示方法の変更を行っておりますので、当第３四半期決算短信において表示されている過年度の営業利益につきましても遡及処理を行っております。

セグメントの業績は以下の通りであります。

【自動車関連品事業】

四輪車・二輪車・汎用エンジン用燃料供給装置類やエンジン関連機能部品類の製造販売を中心とする当事業の売上高は、四輪車用製品の国内向けにつきましては、エコカー減税や補助金効果などにより増加しました。アセアン市場ではエコカー向けの新製品を投入したことにより増加しましたが、インド・中国市場では減少したことにより四輪車用製品全体では減少しました。二輪車・特機用製品につきましては、船外機用製品は増加しましたが、大型二輪車用製品は北米市場では若干の回復傾向にあるものの欧州市場では引き続き低迷が続き、小型二輪車用製品につきましても中国・アセアン市場での需要の停滞などにより、二輪車・特機用製品全体では減少しました。汎用エンジン用製品につきましては堅調な需要により増加しました。

その結果、当事業の売上高は、420億９千４百万円（前年同期比 3.7% 減）となり、営業損益につきましては、14億３千６百万円（前年同期比 29.7% 減）の営業利益となりました。

【生活機器関連品事業】

ガス機器用制御機器類の売上高は、前年同期に比べて、国内ではオール電化からの買換え需要がある一方、価格競争の激化が継続するなどの影響を受け減少しました。中国では景気の減速や不動産需要の低迷などにより需要が停滞する状況のなか増加しましたが、欧州市場や中南米市場向けについては減少しました。

その結果、当事業の売上高は、44億３千５百万円（前年同期比 2.3% 減）となり、営業損益につきましては、３千３百万円（前年同期は６千３百万円の営業利益）の営業損失となりました。

【航空機部品輸入販売事業】

航空機部品類の売上高は、前年同期に比べて、民間の航空機需要は堅調に推移しました。昨年末には円安基調に転じたものの、米ドル建ての販売契約においては、当第３四半期連結累計期間までは、総体的に円高による為替の影響を大きく受けました。

その結果、当事業の売上高は、85億９千８百万円（前年同期比 2.0% 減）となり、営業損益につきましては、４千１百万円（前年同期比 38.9% 減）の営業利益となりました。

【その他事業】

芝管理機械等の輸入販売、車輌用暖房器類、加湿器・介護機器等の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて、芝管理機械は、ゴルフ場の入場者数が増加したことなどを背景に、施設の設備投資が回復したことの要因などにより増加しました。車輌用暖房器類につきましては、国内ではバスのモデルチェンジ前での需要の増加はありましたが、欧州市場向けは在庫調整の影響を受け減少し、加湿器類につきましては、業務用エアコン用は、学校施設向けの需要があり増加しました。コンシューマ向け加湿器、空気洗浄機は増加しました。介護機器につきましては前年同期並みとなりました。

その結果、当事業の売上高は、47億９千５百万円（前年同期比 11.5% 増）となりましたが、営業損益につきましては、主に車輌用暖房器類の欧州市場向けの低迷などの要因により、５千４百万円（前年同期比 33.3% 減）の営業利益となりました。

【事業の種類別業績　比較表】　（単位：百万円）

	平成24年3月期 第3四半期連結累計期間		平成25年3月期 第3四半期連結累計期間		売上高の増減		営業利益の増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	比率	金額	比率
自動車関連品事業	43,722	2,044	42,094	1,436	△1,628	△3.7%	△607	△29.7%
生活機器関連品事業	4,539	63	4,435	△33	△103	△2.3%	△96	―
航空機部品輸入販売事業	8,774	67	8,598	41	△175	△2.0%	△26	△38.9%
その他事業	4,299	81	4,795	54	496	11.5%	△27	△33.3%
合計	61,334	2,257	59,923	1,499	△1,411	△2.3%	△757	△33.6%
ご参考 外貨換算レート	1米ドル=80.59円		1米ドル= 79.39円		―		―	

（注）１．営業利益欄の△は営業損失を示します。
２．表中の数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

【ご参考】平成23年３月期第１四半期～当第３四半期までの四半期毎の業績推移　（単位：百万円）

		平成23年3月期				平成24年3月期				平成25年3月期		
		第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3
自動車関連品事業	売上高	13,877	14,740	14,111	14,213	13,201	15,061	15,459	15,057	14,307	13,895	13,890
	営業利益	718	669	718	371	609	706	729	440	621	131	684
生活機器関連品事業	売上高	1,293	1,651	1,560	1,312	1,428	1,513	1,597	1,446	1,293	1,502	1,638
	営業利益	45	18	88	△6	30	27	5	△39	△35	△6	8
航空機部品輸入販売事業	売上高	2,433	2,463	3,030	2,615	2,937	2,793	3,042	3,264	3,010	2,746	2,841
	営業利益	△12	△2	0	31	70	△23	21	13	11	△8	38
その他事業	売上高	1,952	1,348	1,441	1,717	1,591	1,372	1,334	1,600	1,596	1,830	1,367
	営業利益	88	△60	78	100	71	△4	15	17	29	48	△23
合計	売上高	19,556	20,203	20,143	19,858	19,159	20,741	21,434	21,369	20,208	19,976	19,738
	営業利益	839	624	885	496	781	705	771	431	627	164	707

（注）１．営業利益欄の△は営業損失を示します。
２．表中の数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、738億３千４百万円となり、前連結会計年度末に比べて52億５千２百万円減少しました。

流動資産は、340億２千４百万円となり、前連結会計年度末に比べて61億５千１百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が32億９千３百万円、受取手形及び売掛金が18億６千４百万円減少したことによるものであります。また、前連結会計年度末に計上しましたタイの大洪水による未収受取保険金が入金され、その他流動資産が21億１千３百万円減少しました。

固定資産は、398億１千万円となり、前連結会計年度末に比べて８億９千９百万円増加しました。これは主として、機械装置及び運搬具が３億５千７百万円、建設仮勘定が８億２千２百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は、582億３千７百万円となり、前連結会計年度末に比べて49億６千３百万円減少しました。

流動負債は、421億１千万円となり、前連結会計年度末に比べて33億１千１百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金が12億２千７百万円、１年内返済予定の長期借入金が10億８千７百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、161億２千６百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億５千２百万円減少しました。これは主として、長期借入金が21億１千７百万円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、155億９千７百万円となり、前連結会計年度末に比べて２億８千９百万円減少しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月８日に公表しました平成25年３月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年２月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

（四半期連結損益計算書）

前第３四半期連結累計期間において、「営業外収益」に区分掲記していた「スクラップ売却益」は、主に原材料の売却額であり、今後継続して発生すると見込まれるため、第１四半期連結累計期間より、「売上原価」から控除する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「スクラップ売却益」に表示していた108百万円は、「売上原価」から控除しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,510	4,216
受取手形及び売掛金	17,339	15,474
商品及び製品	5,943	6,535
仕掛品	2,695	2,941
原材料及び貯蔵品	1,511	1,782
その他	5,236	3,122
貸倒引当金	△60	△49
流動資産合計	40,176	34,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,330	8,959
機械装置及び運搬具（純額）	6,775	7,133
工具、器具及び備品（純額）	1,557	1,734
土地	12,763	12,760
建設仮勘定	1,764	2,587
有形固定資産合計	32,191	33,174
無形固定資産		
のれん	70	28
その他	456	456
無形固定資産合計	526	485
投資その他の資産	6,192	6,150
固定資産合計	38,910	39,810
資産合計	79,087	73,834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,886	10,659
短期借入金	21,988	22,869
1年内返済予定の長期借入金	4,845	3,758
未払法人税等	159	76
賞与引当金	1,126	551
災害損失引当金	194	－
その他	5,220	4,196
流動負債合計	45,421	42,110
固定負債		
長期借入金	9,132	7,014
退職給付引当金	4,663	4,784
その他	3,983	4,327
固定負債合計	17,778	16,126
負債合計	63,200	58,237

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	7,020	7,650
自己株式	△45	△46
株主資本合計	10,889	11,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	929
繰延ヘッジ損益	2	16
土地再評価差額金	4,910	4,910
為替換算調整勘定	△2,674	△2,718
その他の包括利益累計額合計	3,067	3,137
少数株主持分	1,929	940
純資産合計	15,887	15,597
負債純資産合計	79,087	73,834

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	61,334	59,923
売上原価	52,585	51,580
売上総利益	8,749	8,343
販売費及び一般管理費	6,492	6,843
営業利益	2,257	1,499
営業外収益		
受取利息	50	24
受取配当金	55	55
持分法による投資利益	－	5
為替差益	－	2
受取賃貸料	156	118
その他	171	121
営業外収益合計	434	327
営業外費用		
支払利息	311	342
持分法による投資損失	9	－
退職給付会計基準変更時差異の処理額	146	146
為替差損	561	－
その他	162	165
営業外費用合計	1,191	654
経常利益	1,500	1,172
特別利益		
固定資産売却益	12	10
負ののれん発生益	－	464
特別利益合計	12	475
特別損失		
投資有価証券評価損	138	－
固定資産除売却損	15	21
退職特別加算金	－	22
災害による損失	47	－
その他	24	19
特別損失合計	224	63
税金等調整前四半期純利益	1,287	1,584
法人税等	812	902
少数株主損益調整前四半期純利益	475	682
少数株主利益又は少数株主損失（△）	131	△117
四半期純利益	344	799

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	475	682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	100
繰延ヘッジ損益	35	14
土地再評価差額金	365	―
為替換算調整勘定	△930	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	4
その他の包括利益合計	△680	106
四半期包括利益	△205	789
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202	869
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△80

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	自動車関連品	生活機器関連品	航空機部品輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,722	4,539	8,774	57,035	4,299	61,334	－	61,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	43,722	4,539	8,774	57,035	4,299	61,334	－	61,334
セグメント利益	2,044	63	67	2,175	81	2,257	－	2,257

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輌用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	自動車関連品	生活機器関連品	航空機部品輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,094	4,435	8,598	55,127	4,795	59,923	－	59,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	42,094	4,435	8,598	55,127	4,795	59,923	－	59,923
セグメント利益又は損失(△)	1,436	△33	41	1,445	54	1,499	－	1,499

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輌用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

自動車関連品事業において、連結子会社ミクニ（タイランド）カンパニーリミテッドの株式を追加取得致しました。これにより、負ののれん464百万円が発生し、当第３四半期連結累計期間において、特別利益に計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。